|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校社会科用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい社会」  **知識の構造図**  **【３年】** |

令和５年（2023年）7月版

東京書籍

□　知識の構造図　市の様子

わたしたちがくらす福岡市は、交通機関や高い建物が集まる場所や、住宅や公共施設の多い場所、海の近くの畑の多い場所などがあり、

にぎやかで自然ゆたかな市である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑨

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

福岡市には、古くから残る神社、寺院、家屋などの建造物や城跡があり、博多区や中央区に多く集まっている。

⑧

・城跡

・神社　・寺院

・いわれ

わたしたちは、福岡市のさまざまな場所の違いや特色をくらしや観光などに生かすことができる。

⑩

⑨

福岡市の中心部には市役所などの公共施設があり、市民のくらし、教育、健康福祉、観光や産業を支えている。災害時の避難場所も指定している。

⑦

福岡市には、新幹線、鉄道、地下鉄、高速道路などの交通網が広がり、人々の移動や物の輸送に便利である。

⑥

福岡市は、海に近い博多区や中央区を中心に大きな建物が集まり、その周りに住宅が広がっている。市の東側には工場が多く、西側には田畑が広がっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤

⑤

福岡市の土地は、海に面した北側が低く、南に向かうほどだんだん土地が高くなっている。平らな土地は、海を囲うように東西に広がっている。

④

福岡市には七つの区があり、さまざまな様子がみられる。

②

福岡市は福岡県の西に位置し、高い建物が集まる場所や島、山などがある。

①

・福岡市

・市の形　・八方位

・地図帳

・市の位置

位置

社会的事象

（具体的知識）

・市役所

・ひなん場所

・公共しせつ

・新幹線　・地下鉄

・高速道路　・空港

・交通

・市の形　・八方位

・地図帳

・工場　・倉庫

・田畑　・森林

・土地の使われ方

・山　・島　・川

・土地の高さ

・観光　・宣伝

・市のとく色

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　農家の仕事

あまおう農家では、ビニールハウスなどの設備を使い、季節に合わせた育て方をするなど、おいしいあまおうをたくさんつくるためにさまざまな工夫をしている。また、つくられたあまおうは市の中央卸売市場から市内外の店に運ばれて販売され、地域の人々の生活と密接な関わりがある。

⑨⑩

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

わたしたちの住む福岡市では、さまざまな野菜や果物がつくられている。

①

農家では、自然条件を生かしてあまおうをつくるほか、苗づくりや栽培設備にさまざまな工夫をしている。また、ビニールハウス内で電照をしたり暖房をつけたりすることで、冬でもたくさんのあまおうを収穫できるよう工夫している。　　　　　　　　　　　　　　　　⑥⑦

あまおうの収穫は、朝早くから手作業で行われている。収穫されたあまおうは、市内だけでなく、近隣の市や他県や海外にも送られている。

⑧

農家では、季節の変化に合わせた工夫をしながら、１年間計画的にあまおうをつくっている。

④⑤

福岡市では、たくさんのいちごがつくられていて特産品になっている。特にあまおうという種類が有名である。

②③

③

社会的事象

（具体的知識）

・日当たり

・しゅうかく

・なえ

・あまおう

・農家

・特産品

・生産額

・ぼうグラフ

・作物

・葉かぎ

・電しょうせつび

・だんぼうせつび

・ビニールハウス

・送り先

・市場

・パックづめ

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　工場の仕事

明太子工場で働く人々は、明太子をたくさんの人に食べてもらうために、衛生面に気を付け、さまざまな工夫をして仕事をしている。また、明太子は県内を中心に販売され、福岡市のお土産として知られているなど、地域の人々の生活と密接な関わりがある。

⑨⑩

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

工場で作られている明太子は、県内を中心とした販売店で売られている。商品開発をしたり、地域の文化や伝統工芸品などを紹介したりして、明太子を通して、福岡市のよさをたくさんの人に広めようとしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑧

わたしたちの住む福岡市には、さまざまなものをつくる工場があり、博多港の近くに多く分布している。また、特に、食べ物や飲み物をつくる工場が多い。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

工場では、人の手と機械を有効に使って、流れ作業で明太子を作っている。

④⑤

福岡市にある工場でつくられる明太子は、70年以上前からつくられていて、福岡市の名物になっている。

②③

明太子を安全にたくさん作るために、工場で働く人たちは、温度管理や衛生面に気を付けながら仕事をしている。

⑥⑦

社会的事象

（具体的知識）

・安全

・せいけつ

・えいせい面

・原料

・作業

・きかい

・明太子

・博多港

・工場

・たくはいびん

・インターネット

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　店ではたらく人

販売の仕事に携わる人々は、お客さんのさまざまな願いをふまえ、売り上げを高める工夫や努力をしながら仕事をしている。

⑬⑭

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

・かんばん

スーパーマーケットでは、たくさんの商品が販売されている。また、たくさんの人たちが仕事をしている。

⑤⑥

利用する理由は店によって異なるが、家の人たちがよく利用するのはスーパーマーケットである。

②

②

②

・スーパーマーケット

スーパーマーケットに並ぶ多くの品物は、国内だけではなく海外も含めた、他地域とのかかわりによって成り立っている。

⑦⑧

・産地

・国旗

スーパーマーケットで働く人々は、商品の注文や陳列をしたり、商品を加工・包装したりするなど、さまざまな取り組みをして、お客さんがたくさん来るよう工夫している。　　　　　　　　　　　　　　　　⑨⑩

・品しつ

・注文

地域には、さまざまな種類のお店がある。

①

・商店がい

スーパーマーケットで働く人々は、お客さんの多様なニーズに応えるためのさまざまなサービスをしており、それらの工夫が店の売り上げを高めることにつながっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　⑪⑫

・産地

・国旗

地域にみられる生産の仕事や販売の仕事は、わたしたちの生活と身近なところでつながっている。

❶

・生活とのつながり

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　火事からくらしを守る

火事から地域の人々の安全を守るために、消防署などの関係機関は相互に連携して、緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら火事の防止に努めている。　　　　　　　　⑦⑧

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

消防署の人たちは、地域の安全を守るために、火事が起きたときに迅速に対応している。また、日頃から火事に対応するための訓練などを行い、緊急時に備えている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

まちにはさまざまな消防施設が設置されており、火事などの災害が起きたときのために、避難場所も定められている。

⑤

消防団は、地域の人々が集まり、消防署と協力しながら火事に備えて訓練したり、防火を呼びかけたりしている。

⑥

火事が起きると、消防士が現場に到着して消火活動を行い、さまざまな人々が協力して消火や救助の活動をしている。

①

火事が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。

④

社会的事象

（具体的知識）

・消火活動

・防火服

・訓練・点検

・消防士

・消防自動車

・協力

・消防のしせつ

・防火水そう

・消火せん

・ひなん場所

・国のきまり

・消防団

・消火くんれん

・119番

・通信指令室

・救急車

・けいさつしょ

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　事故や事件からくらしを守る

事故や事件から地域の人々の安全を守るために、警察署などの関係機関は相互に連携して、緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら事故などの防止に努めている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

地域社会の一員として、地域社会の安全のために自分たちにもできることや日頃から心がけることを考えることが必要である。

❶

こども110番の家の設置など、関係機関が地域の人々と協力して、地域の安全を守っている。また、地域の人々は、警察やPTA、市役所などと連携しながら安全なまちづくりに努めている。 　　　　 ④

事故が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。

②

身近な地域には、事故や事件の起こりそうな危ない場所がたくさんある。①

警察官は、地域の安全を守るために、地域社会の中でさまざまな活動をして事故などの緊急時に備えている。

③

社会的事象

（具体的知識）

・防犯教室

・防災訓練

・こども110番

・安全なまちづくり

・防犯パトロール

・安全マップ

・事故

・事件

・協力

・けいさつ

・交番

・法やきまり

・通報

・110番

・通信指令室

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　 つかむ　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　市の様子と人々のくらしのうつりかわり

市や人々の生活の様子は、交通網の整備や公共施設の建設、土地利用や人口の変化、生活で使う道具の改良など、時間の経過に伴い移り変わってきている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑨⑩

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

昔から今に至るまで、くらしをよりよくしようとする人々の願いによって道具はさまざまに工夫されて使われてきており、人々の生活も変わってきた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑦⑧

・道具

・博物館

明石市の人々は、市の発展のためにさまざまな取り組みをしており、わたしたちも市の未来について考えていくことが大切である。

⑪

明石市の学校や図書館などの公共施設は、人々のくらしに役立つために昔から今に至るまで計画的に建設されており、税金を使って整備されている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・移動図書館

・コミュニティー・センター

・税金

明石市の土地利用の様子は、昔は田や畑が多かったが、埋め立て地や団地ができるなど昔から今に至るまで大きく変わってきた。

⑤

⑤

明石市の主な道路や鉄道などの交通網は、昔から今に至るまで計画的に整備されており、人々の生活も変わってきた。

④

明石市の人口は、昔から今に至るまで市町村の合併などの土地の広がりに合わせて増えており、最近では特に、お年寄りや外国の人の数が増加してきた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

③

明石市の昔と今では、土地の使われ方や交通などの様子が変わってきた。

②

戦争で空襲の被害を受けた明石のまちは、70年前から今まで、いろいろと変わってきている。

①

・時期の区分

・戦争

・空襲

社会的事象

（具体的知識）

・年表

・土地の高さ

・土地の使われ方

・

・ため池・人工の島

・埋め立て

・団地

・

・明治　・市営バス

・鉄道　・新幹線

・国道　・高速道路

・人口

・大正、昭和、平成

・外国の人

・

・天文科学館

・市の広報誌

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす